

低品位な廃プラスチックの高效率な有効利用に向けた資源循環システムの環境・経済評価

研究概要

- 今後、低品位のプラスチック、例えばプラスチックを多く含む海岸漂着物、プラスチックを多く含む建設混合廃棄物、プラ新法を受けて回収された製品プラのうち**マテリアルリサイクルが困難なもの**や**リサイクル処理後の残渣物**等の処理需要はますます高まることが予想される。これらの低品位はプラスチックの多くは、安定型処分場にて埋立処分されている。本研究では、このような廃棄物の新たな受け入れ先として、**熔融燃料用 RPF 等としての有効利用について検討する。**
- 本研究では、低品位プラスチックの排出、収集運搬、中間処理、最終処分に至る現状のフロー調査及び処理の困難性に関する調査を行い、その結果を基に低品位プラスチックの処理シナリオを複数設定する。複数のシナリオ間において、公平なLCA評価が可能となるよう、機能単位の統一、システム境界の調整を行い、**LCCやLC-CO₂の計算をし、比較評価を行う。**

